



シンフォニー

シンフォニー（交響曲）には、みんなの声を響き合わせたいという想いが込められています。

Vol.56
2022 Spring

特集①

コロナ禍における
女性の貧困を考える P2~3



特集②

多様性を認め合うために
..... P4~5

- さんかくプラザってどんなところ？ P6
- こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議 P7
- 人権相談てなんだろう？ P8



セーフコミュニティ郡山

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
SDGs未来都市こおりやま

5 ジェンダー平等を
実現しよう
♀

10 人や国の不平等
をなくそう
⚖

コロナ禍における 女性の貧困を考える

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちは、生命や生活、経済、社会、さらには行動・意識・価値観にまで及ぶ大きな影響を受けています。特に、新型コロナウイルスの影響は、女性の雇用や所得に強く現れており、経済的困難に陥るひとり親家庭の増加も危惧されています。

今号では、女性に焦点を当てて、生活に困難や不安を抱えている方々の現状や支援策、女性や子どもが安心して笑顔で過ごせるために何が必要かについて、郡山を拠点に県内全域で支援活動をしている、「NPO 法人しんぐるべあれんとF・福島」の遠野馨さんにお話を伺いました。

寄付支援の詳細は、
団体ウェブサイトをご覧ください

福島県女性のつながりサポート事業で実施したハンドマッサージ体験講座

新型コロナウイルスに起因して、

どのような相談が増えましたか。

相談は、生活に関する事や子どもの事などが多く、実感として増加しています。勤務先の休業や勤務時間短縮による所得の減少のほか、感染拡大による子供の通学への不安など様々な相談があります。

相談者へはどのような支援をしていますか。

電話で相談を受けています。必要な場合には専門家や行政などへつなぐ場合もあります。そのほか、ひとり親家庭への食料支援なども行っています。

コロナ発生前は、食料支援も年間200件ほどでしたが、2020年度は1000件、2021年度は4月から12月までで1300件を超えています。

生活に困難や不安を抱えているみなさん、『気持ちを共有できる仲間がたくさんいます。ひとりで悩まずにご連絡ください！』

私たちにできることを教えてください。

支援件数の増加から物資の手配も大変な状況です。事業者・個人問わず、食料品の提供や運営資金の寄付などの支援をお願いします。

新型コロナウイルスの影響も長期となっており、貧困の問題も拡大している現状です。

お悩みがあれば一人で悩まず相談しましょう。



食料支援、こぶたのポッケでの学習支援の様子

女性の見守り支援

- ・手芸講座
- ・おしゃべり会
- ・電話相談

生活困窮状態の母子家庭への食料支援

子どもの居場所「こぶたのポッケ」

- ・学習支援
- ・食事の提供

県内各地での相談会やおしゃべり会の開催

母子家庭の母たちが「困った時はおたがいさま」を合言葉に互いに支えあい、励ましあいながら子育て支援講座や相談会などを始めたことが設立のきっかけです。

活動してよかったこと

長年活動している中で、小さかった子ども達が成長し今では支援者として活動のサポートをしてくれています。

「NPO法人しんぐるぺあんとF・福島」
こんな支援活動をしていますー！

郡山市安積町荒井字方八丁 65-1 山口ビル 1F

電話 024-983-1934

相談時間 月～金（祝日除く）
10:00～15:00



コロナ禍で困っていることや不安なことはありませんか？



郡山市内には、内容に応じて、いろいろな相談機関があります。
ひとりで悩まず、気軽に相談しましょう。

子育て相談・女性相談など

郡山市こども家庭相談センター
女性のための電話相談・ふくしま

Tel 024-924-3341
Tel 0120-207-440

郡山市などで行っている
相談窓口は、こちらの市の
ウェブサイトをご覧ください



福島県コロナ禍における女性のつながりサポート事業

相談したり、安心して過ごせる場所があります。
訪問相談や生理用品の提供も行います。
ひとりで悩まずご相談ください。

問い合わせ先：福島県男女共生センター



団体	内容	お問い合わせ先
福島県男女共生センター相談室	●電話相談 0243-23-8320 火・木～日曜日 9時～12時、13時～16時 水曜日 13時～17時、18時～20時	Tel 0243-23-8304
NPO法人しんぐるぺあんとF・福島	●電話相談 024-983-8360 月曜日 10時～15時 ●居場所（女性の居場所サロン：講座、おしゃべり会） 詳細は、お問い合わせください（要予約）	Tel 024-983-1934 （月～金曜日）

生理用品を配布しています

皆様のご厚意により寄附いただいた生理用品を無料で配布しています。
対象：生理用品の入手に困っている方
配布物：生理用ナプキン1セット
（原則1人1セット）

郡山市内での配布場所

配布場所・時間	県中地方振興局 県政相談コーナー内 （福島県男女共生センター チャレンジ支援相談コーナー）	月～木曜日 9時～12時、 13時～16時
	郡山市男女共同参画センター （さんかくプラザ）	第3日曜日 9時～21時 を除く

スマイルサニタリープロジェクト

Tel 024-932-5311

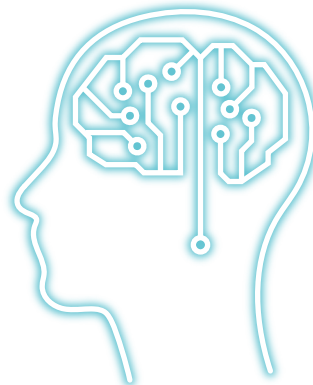
社会福祉法人郡山市社会福祉協議会では、コロナの影響による経済的事情等で生理用品を購入できない女性に対し、生理用品の物品寄付を募り、無償で提供しています。（原則1人1セット）

多様性を認め合うために

すべての市民の人権が尊重される社会を形成するためには、多様な価値観を認め合う環境づくりが必要です。「無意識の偏見」による間違った理解や思い込みを取り除くことも、多様性を認め合うための鍵となります。特集②では、多様性をテーマとし、無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）とはなにか、多文化共生についての取り組み、LGBTについての新たな情報などをご紹介します。

アンコンシャス・バイアスって何？

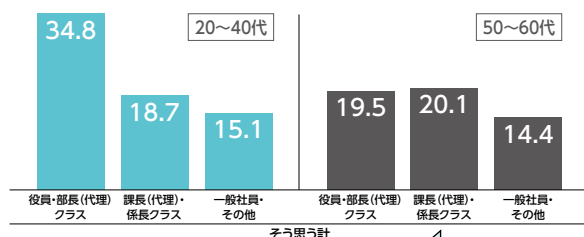
アンコンシャス・バイアスとは、自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見・思い込み」と呼ばれます。ここでは、内閣府男女共同参画局が実施した「令和3年度 性別による無意識の思い込みに関する調査結果」（全国20～60代：1万人から得た回答）から、その一部をご紹介します。



シーンⅠ 職場

01 仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い

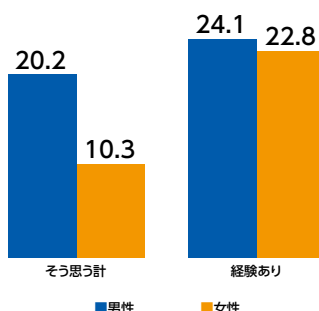
ポイント：評価者である役職者の方が、一般社員よりもそう思っている割合が高い。



＜経験者の声＞
●職場で「子どもの習い事の発表会に父親(男性職員)が行くため、仕事を休むのは違うのではないか、母親が行けばよいのではないか」という話を聞いた。

02 男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ

ポイント：そう思う男性は、女性の2倍。



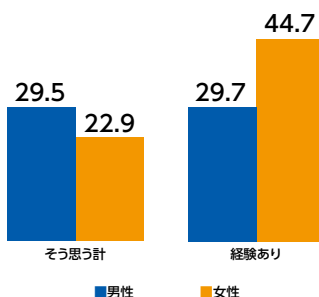
＜経験者の声＞
●「男性だから仕事は遅くまで残って頑張りなさい」と上司から言われた。
●上司から「休日出勤やサービス残業は男なら当たり前だ」といわれたことがある。

シーンⅡ 家庭

グラフの“そう思う計”…性別役割について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

01 家事・育児は女性がすべきだ

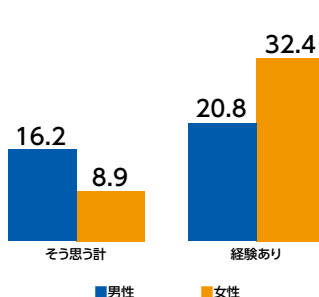
ポイント：女性の半数近くが「女性がすべきだ」という思い込みを決めつけられた経験がある。配偶者・パートナーから言われることが多い。



＜経験者の声＞
●義理の母から「子どもの小さいうちは母親がそばにいてあげないと。働くのはまだ早い」と言われた。
●自分が直接言われたわけではないが、「やっぱり子どもが熱を出したらお母さんが看病するよね」という発言がサラッと会話に出てきた。悪気があって言っているわけでも、男性への不満ということでもなく、それが普通という感じだった。

02 実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がすべきだ

ポイント：3割超の女性が、「女性がすべきだ」という思い込みを決めつけられた経験がある。そのように言うのは「男性の親戚」が多い。



＜経験者の声＞
●義理の父が入院したときに、私も仕事をしているのに「身の回り世話はずいぶん女性がやるべきだ」と配偶者に言われた。
●親の介護で休職願いを提出した時に、「介護は女性の配偶者に任せるべきだ」と指摘された。

「性別による思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査結果」(内閣府男女共同参画局)より



アンコンシャス・バイアスはどこでも、誰にでもあるもの。なくすことはできないけれど、気づくことが対処への第一歩となります。

決めつけない・押し付けないこと、一人ひとりと対話をしてみることで、相手を尊重する心の姿勢を持つことで、アンコンシャス・バイアスが解消されるかもしれません。

調査結果の詳細はこちら↓

チェックシート・事例集はこちらで閲覧、ダウンロードできます
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r03.html



多文化共生 について

令和3年度人権講演会は、多文化共生をテーマに、令和3年11月28日（日）に実施しました。

講師：にしゃんた さん（羽衣国際大学教授 落語家 タレント）

演題：「違いをたのしみ 力にかえる！みんなが“ちがう”からたのしい。みんなが“ちがう”からはじめよう」



講演では、多文化共生について、にしゃんたさんご自身の経験や、日本の歴史・文化などからの考察、専門的な視点による共生のあり方などを、軽快なトークでお話いただきました。

参加者からは次のような感想が寄せられました

にしゃんたさんの話がとても面白かった。

多文化共生の説明がとても分かりやすかった。

共に笑いあう“共笑”という考えがとても大事であると印象に残りました。



また、今回は郡山東高校のご協力で10名の生徒が参加してくれました。生徒さんからは、

「人それぞれ違いがあり、それらを受け入れるために、変化することが大切。壁を取り払い共笑できるよう日々過ごしていきたい」等の感想をいただきました。

にしゃんたさんのお話から多文化共生についてのヒントが得られたのではないかと思います。

にしゃんたさん、本当にありがとうございました。

LGBT について

郡山東高校では、令和3年7月に新聞部が1、2年生を対象とした「ジェンダー意識調査」を行いました。現在の高校生のLGBTに対する認知度を測る貴重なデータとなりますので結果の一部をご紹介します。

●LGBTとは

性の在り方が多数の人と異なる方のことです。

L：レズビアン（女性同性愛）

G：ゲイ（男性同性愛）

B：バイセクシャル（両性愛）

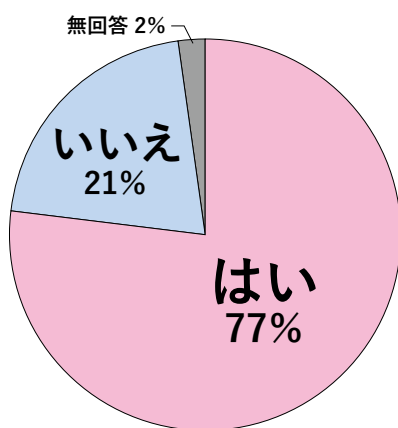
T：トランスジェンダー（心と体の性が一致しない）

●同性パートナーシップ制度とは

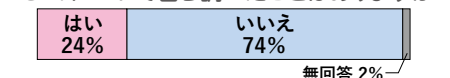
戸籍上は同性であるカップルに対して、法的拘束力はないが、地方自治体が婚姻と同様のパートナーであることを承認する制度。

郡山東高校1、2年生へのアンケート結果

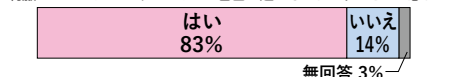
LGBTという言葉を知ってますか



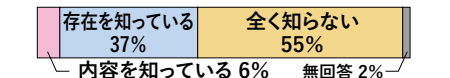
LGBTについて自ら調べたことはありますか



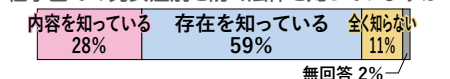
制服について、スカートかズボンを選ぶようにすべきだと思うか



パートナーシップ制度について知っていますか



仕事面での男女差別を防ぐ法律を知っていますか



令和2年度 市民意識調査(20歳以上)

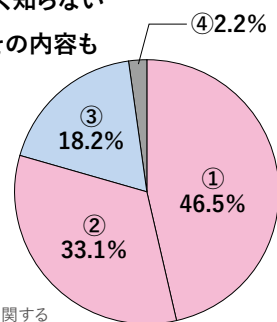
性的マイノリティについての認知度

①言葉もその内容も知っている

②言葉はよく知っているが、内容はよく知らない

③言葉も、その内容も知らない

④無回答



「男女共同参画に関する市民意識調査(令和2年度)」より



LGBTという言葉は、高校生も約8割の人が認知していました。昨年度の市民意識調査では、20歳以上の方も8割程度の認知度だったので、ほとんどの世代で認知が進んでいるようです。



男女共同参画センター(さんかくプラザ)は 令和4年度で20周年を迎えます。



さんかくプラザってどんなところ？

さんかくプラザは郡山市の「男女共同参画社会実現のための拠点施設」です。

会議室や集会室などの施設の貸館や、各種講座による学習の支援、女性のための相談窓口の設置など、様々な事業を展開しています。



さんかくプラザの貸館施設

※新型コロナウイルス感染予防対策として、現在は定員を削減してご利用いただいております。



研修室



調理実習室



和室



集会室



会議室



交流室

貸館施設は2か月前から
予約できるよ♪

講座や相談の日時は
さんかくプラザウェブサイトや
広報こおりやまで確認してね。



各種講座（令和4年度予定）

男女共同参画推進のため、以下のような事業を実施しています。

- 6月 男女共同参画フェスティバル
男女共同参画 川柳コンクール
- 8月 Web会議講座
父と子のクッキング講座
- 9月 男性のための介護・料理講座
- 10月 女性の就活支援パソコン初級講座
女性のための軽運動講座
- 11月 未来が変わる働き方講座
- 12月 三世代交流体験型講座
- 1月 人権尊重啓発のための講座
女性パワーポイント講座
- 2月 調剤薬局事務講座
- 3月 女性リーダー養成コーチング講座



相談

特設人権相談（月1回）

- くらしの人権（困りごと）なんでも相談
- ・いじめや虐待、夫婦、親子の問題等のお悩み

女性のための相談日（事前申込制）

- 女性相談員による就労に関する相談（月1回）
- ・就労に関するお悩み
- 女性弁護士による法律相談（月1回）
- ・ハラスメントなどのお悩み
- 女性相談員による夫婦関係の悩みや福祉制度の相談（月2回）
- ・家族のお悩み ・心や身体のお悩み

※さんかくプラザでは随時ご相談を受付しております。

郡山市男女共同参画センター
さんかくプラザ

（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）

〒963-8876
福島県郡山市麓山二丁目9-1

TEL : 024-924-0900
FAX : 024-924-0904

E-mail sankaku@bunka-manabi.or.jp
<http://www.bunka-manabi.or.jp/sankaku>



働きがいも、経済成長も ～SDGs実現のために私たちができること～

講師

一般社団法人グロウイングクラウド
代表理事 三部香奈 さん

人材育成や起業家支援、多様なチャレンジを応援するセミナー、イベントなどの活動をされています。



株式会社ケイリーパートナーズ
代表取締役 鷺谷恭子 さん

地域企業に向けた経理支援、広報支援などのアウトソーシングサービスを、子育て女性のワークシェアリングで担う会社を運営されています。



働きたい人すべてが、生き生きと働くためには、誰もがやりがいを持って自分らしく働くことができる環境づくりが重要です。仕事と子育て・介護・社会活動等の生活とのバランスを取りながら、意欲を持って生き生きと働き続けるには、多様で柔軟な働き方の実現が求められています。

「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議」では、多様な働き方の実現とSDGsの取組みについて、「働きがいも、経済成長も」SDGs実現のために私たちができること」をテーマに開催しました。

第一部では、講師自身の経験から、一人ひとりが生き生きと輝ける社会にするために、自分らしい多様な働き方について選択肢を自由に選べるような会社・社会制度が必要であることをお話いただきました。

「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議」は、今後もあらゆる分野での女性の活躍を推進するため、新しい生活様式を実践しながら、広く連携し、交流の場となるよう取り組んでまいります。



全ては社員の健康から。健康面でのサポートが出来れば、SDGsの実現がより具体的になっていくのでは。

簡単なことの心掛け。みんなが気持ち良くなるよう意識して心掛けていけば、自然とSDGsに繋がっていくと思う。



～交流会での参加者の声～

子供達が小中高と授業の中でSDGsの勉強をしていて、私たち大人より子供達にSDGsが浸透していて理解できているのでは。



身近なところで、裏紙使用など紙の削減に努めています。



第二部では、職場や参加者自身がSDGs（誰一人取り残さない社会）実現のためにどんなことをしているかについて、グループに分かれて交流し、参加者全員で共有しました。

こおりやま☆キラリンさんに登録しませんか？



女性活躍に関して積極的な取り組みをされている方を「こおりやま☆キラリンさん」として、紹介しています。

詳しくはこちらをご覧ください。▶



こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議とは？

多種多様な団体が情報交換を行い、相互に連携を図ること目的に、2014(平成26)年に発足しました。現在、52の企業・団体が登録しています。

随時募集していますので、ぜひ登録ください！

過去の会議内容や会員登録方法は
こちらをご覧ください。▶



人権相談てなんだろう？

人権相談は、法務局と人権擁護委員協議会が設置する相談窓口です。
弁護士を含む人権擁護委員が、お悩みの解決方法を一緒に考えます。

相談は無料
秘密は厳守

例えばこんなお悩みがあれば

家族等からの
暴力



職場での
パワハラや
セクハラ



学校などでの
体罰やいじめ

インターネットでの
プライバシー侵害や
誹謗中傷



不当な
差別



その他

- ・離婚問題
- ・近隣間のトラブル
- ・LGBT等に関するお悩み

人権相談	面談	常設	場所…郡山市希望ヶ丘31-26 (福島地方法務局郡山支局) 日時…土日祝日を除く 8:30~17:15	お問合せ 024-962-4500 (法務局郡山支局)
		特設	場所…郡山市麓山二丁目9-1 (さんかくプラザ) 日時…毎月第2木曜日 13:00~16:00 (8・12・2月を除く)	
	電話	人権相談全般	0570-003-110 (みんなの人権110番)	
		子どもの人権相談	0120-007-110 (子どもの人権110番)	
		女性の人権相談	0570-070-810 (女性の人権ホットライン)	

ひとりで悩まずお気軽にご相談ください

日本医療機能評価機構認定病院 福島県がん診療連携推進病院



一般財団法人慈山会医学研究所附属

坪井病院

理事長 坪井 永保 院長 原口 秀司

〒963-0197 福島県郡山市安積町長久保一丁目10番地13

TEL.024-946-0808

<http://www.tsuboi-hp.or.jp>



広告

個人から企業まで、あらゆるニーズにお応えします！

各種レンタル・イベントの設営撤去・企画・運営

RENT ALL

株式会社レントオール福島



レントオール郡山

郡山市田村町上行合字西川原 44
TEL.024-941-8188

レントオールいわき

いわき市常磐岩ヶ岡町沢目 85-2
TEL.0246-76-0212

広告

株式会社ケイリーパートナーズ

☎ 024-922-1321



経理支援

データ化支援

SNS支援

企業整理収納

その他

調和のとれた働き方で信頼される仕事を

広告



FIP 不二石橋印刷株式会社

〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字西川原 9-2

TEL.024-954-4520

FAX.024-954-4521

✉ fuji.pco@cup.ocn.ne.jp

<http://www.fuji-ko.co.jp>



広告

編集・発行／郡山市市民部男女共同参画課
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7
TEL.024-924-3351 FAX.024-921-1340
E mail : danjokyoudou@city.koriyama.lg.jp
印刷／不二石橋印刷株式会社



この印刷物は、環境にやさしい
FSC®認証紙と植物油インキ、
UDフォントを使用しています。
紙ヘリサイクル可。